

## 第7節 申請に必要な書類

申請書に添付する書類の例示

○劇場等の舞台

行為種別	申請内容	添付書類	記載要領
喫煙	1 防火対象物の案内図	解除承認の申請を行う防火対象物の位置が明示されていること。	
	2 公演等の概要	舞台で行う催し（公演等）の概要等が把握できるものが記載されていること。	
	3 解除承認の申請場所が存する階の平面図	解除承認の申請場所が明示されていること。	
	4 喫煙行為を行う場所の平面図及び配置図	喫煙行為を行う位置及び周囲の可燃物等の状況が記載されていること。	
	5 進行表	演技進行中の喫煙行為を行う時間が記載されていること。	
	6 消火器の位置、消火体制等	灰皿の位置及び消火器、消火担当者の位置、監視体制等が記載されていること。	
	7 その他	行為の状況に応じて必要なもの。	
裸火使用・危険物品持込み	基本的事項	1 防火対象物の案内図	解除承認の申請を行う防火対象物の位置が明示されていること。
		2 公演等の概要	舞台で行う催し（公演等）の概要等が把握できるものが記載されていること。
		3 解除承認の申請場所が存する階の平面図	解除承認の申請場所が明示されているとともに、周囲の部屋の用途、避難階段、避難通路、避難口等が記載されていること。
		4 進行表	演技進行中での禁止行為の時間、必要とする理由等が記載されていること。
		5 災害発生時の計画	火災発生時の対応要領、通報連絡体制、安全対策、消防用設備等の設置状況等が記載されていること。
		6 消火器の位置、消火体制等	消火器、屋内消火栓、消火担当者等の位置、監視体制、使用後の排煙の措置等が記載されていること。
火薬類	1 火薬類を使用する場所の平面図、立面図及び配置図	火薬の設置位置、固定方法、大道具・幕等の周囲の可燃物までの距離、舞台部・スタジオの空間の高さ、観客・演技者からの距離、床面の養生等が記載されていること。	
	2 火薬類の明細図	火薬量、火薬類の成分、製造会社、点火方法、飛散範囲（高さ及び幅）、火花の放射方向、消費時間、火花の現象等が記載されていること。	

		3 火薬類の取扱い	火薬類の取扱い（搬入、保管方法等）、火薬類の同時消費数、演技上必要な理由、火薬類専従員、非常時の停止方法が記載されていること。
		4 その他	行為の状況に応じて必要なもの。
瞬間的な火炎による裸火	火薬類による裸火	1 火炎を発生させる機器を使用する場所の平面図、立面図及び配置図	火炎を発生させる機器の設置位置、使用方法、固定方法、燃料への点火方法、大道具・幕等の周囲の可燃物までの距離、舞台部・スタジオの空間の高さ、観客・演技者からの距離、床面の養生等が記載されていること。
		2 火炎を発生させる機器の概要	機器の概要及び機器の逆流防止等の安全装置の状況がわかるもの並びに裸火の非常時の停止措置等が記載されていること。
		3 火炎の概要	火炎の長さ及び幅、火炎の発生から消滅までの時間、火炎の放射方向、火炎の状態、液体燃料の場合は引火点と消費量等が記載されていること。
		4 可燃物の養生	火炎の長さ及び幅により定められる範囲に可燃物がある場合は、養生シートの品名、JIS 規格番号が記載されていること。
		5 危険物品の概要	危険物品の名称、引火点、容量、収納容器、保管方法、漏れ、あふれ、飛散防止に対する措置等が記載されていること。 使用するガスボンベの内容量及び数量等が記載されていること。
			基本的事項は、裸火使用・危険物品持込みの例による。
裸火使用	火薬類以外の裸火	1 裸火を使用する場所の平面図、立面図及び配置図	裸火の使用位置、使用方法、大道具・幕等の周囲の可燃物までの距離、床面の養生等が記載されていること。
		2 裸火の概要	火炎の長さ及び幅、火炎の状態、裸火非常時の停止措置、液体燃料の場合は引火点と消費量等が記載されていること。
		3 裸火機器の概要	機器の概要及び機器の安全装置の状況等が記載されていること。 電気機器の場合は、表面の温度及び機器の安全装置の状況等が記載されていること。
危険物品持込み	スマートマシン		基本的事項は、裸火使用・危険物品持込みと同様とする。
		1 スマートマシンを使用する場所の平面図及び配置図	スマートマシンの設置位置及び周囲の可燃物等の状況が記載されていること。
	火薬類・スマートマシン以外	2 スマートマシンの明細図	スマートマシンの製造メーカー、機器名、機器の構造図、機器の概要（説明書等）及び発煙剤の内容が記載されていること。
			基本的事項は、裸火使用・危険物品持込みの例による。
		1 危険物品を使用する場所の平面図、立面図及び配置図	危険物品の使用位置及び周囲の可燃物等の状況が記載されていること。
		2 危険物品の概要	危険物品の名称、容量、収納容器、保管方法、漏れ、あふれ、飛散防止に対する措置等が記載されていること。
		3 危険物品を使用する機器の概要	使用機器の概要、機器の機種名、安全装置の状況が確認できること。 使用するガスボンベの内容量、数量等が記載されていること。

○百貨店等

指定場所の部分	行為種別	申請内容	添付書類	記載要領
売場	裸火使用・危険物品持込み（煮沸行為）	基本的事項	1 防火対象物の案内図	解除承認の申請を行う防火対象物の位置が明示されていること。
			2 解除承認の申請場所が存する階の平面図	解除承認の申請場所が明示されるとともに、周囲の部屋の用途、避難階段、避難通路、避難口等が記載されていること。 解除承認の申請場所以外に現に承認を受けている場所がある場合は、その場所が明示されていること。
			3 災害発生時の計画	火災発生時の対応要領、通報連絡体制、安全対策、消防用設備等の設置状況等が記載されていること。
			4 消火器の位置、消火体制等	消火器、屋内消火栓、監視体制等が記載されていること。
			5 その他	行為の状況に応じて必要なもの。
	電気機器		1 電気機器を使用する場所の平面図及び配置図	機器の使用位置、室内の仕上げ、周囲の可燃物からの距離、開口部の位置及び構造等が記載されていること。 区画内の総消費熱量が記載されていること。
			2 電気機器の概要	使用器具の概要、機器の機種名、器具の表面温度、安全装置、消費熱量の状況等が記載されていること。
	気体・固体燃料使用機器		裸火使用・危険物品持込み（煮沸行為）の基本的事項の例による。	
			1 機器を使用する場所の平面図及び配置図	機器の使用位置、室内のフード用等簡易自動消火装置・スプリンクラー設備・ハロゲン化物消火設備の設置状況、室内の仕上げ、周囲の可燃物からの距離、開口部の位置及び構造等が記載されていること。 区画内の総消費熱量が記載されていること。
			2 機器の概要	使用機器の概要、機器の機種名、安全装置、消費熱量の状況等を記載すること。 気体燃料を熱源とする機器は、地震動等により作動する安全装置（消火装置又は燃料供給停止装置）やガス漏れ時作動する安全装置（ガス過流出防止装置又はガス漏れ発見装置）の設置状況が記載されていること。 煮沸行為を行う機器は、調理油の温度が過度に上昇した時に自動的に熱源を停止する装置等の設置状況が記載されていること。 固体燃料を熱源とする機器は、燃料別に1日の使用量が記載されていること。

		3 危険物品の概要	危険物品の名称、容量等が記載されていること。	
売場及び通常客の出入りする部分	危険物品持込み（煮沸行為以外）	1 危険物品を使用する場所の平面図及び配置図	危険物品の使用位置及び周囲の可燃物等の状況が記載されていること。	
		2 危険物品の概要	危険物品の名称、容量、収納容器、保管方法、漏れ、あふれ、飛散防止に対する措置等が記載されていること。 機器の場合、使用機器の概要、機器の機種名、安全装置の状況等が確認できることが記載されていること。 使用するガスボンベの内容量、数量等が記載されていること。	
裸火使用		売場、裸火使用・危険物品持込み（煮沸行為）の基本的事項の例による。		
1 機器を使用する場所の平面図		機器の使用位置、室内のフード用等簡易自動消火装置・スプリンクラー設備・ハロゲン化消火設備の設置状況、室内の仕上げ、周囲の可燃物からの距離、開口部の位置及び構造等が記載されていること。 区画内の総消費熱量が記載されていること。		
		2 機器の概要	使用機器の概要、機器の機種名、安全装置、消費熱量の状況等を記載すること。 気体燃料を熱源とする機器は、地震動等により作動する安全装置（消火装置又は燃料供給停止装置）の設置状況が記載されていること。 固体燃料を熱源とする機器は、燃料別に1日の使用量が記載されていること。	

○屋内展示場

行為種別	申請内容	添付書類	記載要領
裸火使用・危険物品持込み	1 防火対象物の案内図	解除承認の申請を行う防火対象物の位置が明示されていること。	
	2 解除承認の申請場所が存する階の平面図	解除承認の申請場所が明示されているとともに、周囲の部屋の用途、避難階段、避難通路、避難口等が記載されていること。	
	3 展示会等の内容	展示会等の内容及び裸火又は危険物品を使用する展示の内容が記載されていること。	
	4 使用する場所の平面図及び配置図	使用位置、使用方法、火薬の固定方法、周囲の可燃物からの距離、床の養生、総消費熱量等が記載されていること。	
	5 機器の概要	使用機器の概要、機器の機種名、安全装置、消費熱量の状況等が確認できるものが記載されていること。 気体燃料を熱源とする機器は、ガス漏れ時作動する安全装置（ガス過流出防止装置又はガス漏れ発見装置）の設置状況が記載されていること。	
	6 裸火の概要	火炎の長さ及び幅、火炎の状態、裸火の非常時の停止装置等が記載されていること。	
	7 危険物品の概要	危険物品の名称、容量、収納容器、保管方法、漏れ、あふれ、飛散防止に対する措置等が記載されていること。 火薬類、火薬類の成分、製造会社、点火方法、飛散範囲（高さ及び幅）、消費時間、火花の現象等が記載されていること。	
	8 災害発生時の計画	火災発生時の対応要領、通報連絡体制、安全対策、消防用設備等の設置状況等が記載されていること。	
	9 消火器の位置及び消火体制等	消火器、屋内消火栓、消火担当者の位置、監視体制等が記載されていること。	
	10 その他	行為の状況に応じて必要なもの。	